

バオバブの会 2011年度支援報告

1. 定期支援

11月29日、4校に定期支援金を送りました。

サルム・ジャネ中学校	100,000 円 (608,625 Fcfa)
サルム・ジャネ小学校	50,000 円 (304,315 Fcfa)
サーバシ・チャム小学校	50,000 円 (304,315 Fcfa)
ンジャゴ小学校	50,000 円 (303,221 Fcfa)

2. 障がい児支援

2010年度に続き、2011年度も、12月1日、AESEH に 50,000 円 (現地受領額 303,221 Fcfa) を送りました。

***AESEH (Amicale des Enseignants Souteneurs des Elèves Handicapés**

障がい児童を支援する教師の会) について

アマディ・ジャロさんは、セネガルのファティック市から10キロほど東の Mbellacadio (ンベラカジャオ) 地区にある、チャバ小学校の校長先生です。

かねてよりセネガルの障がいを持った子どもたちの厳しい状況に心を痛めていましたが、2008年、同地区の4つの学校に勤務する7人の先生と共に、AESEH を結成しました。以来、AESEH は、ジャロさんが会長をつとめています。

結成後、同地区にある19の小中学校で調査したところ、約60人の障がい児がいることがわかり、NGO ワールド・ビジョンの援助で、この子どもたちに、車椅子、松葉杖、学用品などを贈りました。

「障がいがある子どもたちでも、充分、健常児に負けないでやっていく能力がある」ということを子どもたちの両親に理解させていく、というのが、AESEH の“困難だが重要な活動ポイント”だそうです。バオバブの会は、2010年12月、AESEH に、初の支援金 50,000 円 (現地受領金 287,433 Fcfa) を送りました。

***2010年度の初の支援金に対する、ジャロさんからのお礼状**

私たち、AESEH へのご支援に対し、心より感謝申し上げます。いただいた**287,433 Fcfa**は、たくさん子どもたちだけでなく、保護者の皆さんにも大きな助けとなりました。私たちはこのお金で学用品を買い、今年度、私たちが支援している、**61人**の子どもたちに贈りました。贈呈式には、地域の教育委員会の代表、村長、CODEC (私が副会長を務める、地域の学校長のグループです) の会長、子どもたちの保護者が出席しました。チャバ小学校の演劇グループが式を盛り上げ、国立ラジオのファティック支局が取材にきました。保護者の皆さんは大喜びで、このご支援に深く感謝していました。エル・ハッジ・マサンバ ディウフ様はじめ、バオバブの会に関わるすべての皆さま、本当にありがとうございました。

2011年2月19日

AESEH 会長

アマディ・チェルノ・ジャロ

アマディ・ジャロさん



贈呈式での子どもたちと父兄

文房具贈呈式でスピーチするジャロさん



贈られた文房具



ジャロさんからのメール (抜粋)

私たちが活動しているセレ人の地域には、子どもたちの就学状況、なかでも障がい児のそれについて大きな問題があります。が、私たちが障がい児に学用品を贈る活動を始めて以来、親たちが、自分たちの子どもも教育を受ける権利があるということを少しずつ理解し始めました。最近ではしばしば親たちが学校にやってきて、感謝と信頼の気持ちを示してくれるようになりました。これは大変に嬉しいことであり、私たちにとって大きな進歩です。

活動を始めた最初の年である 2008 年に、私たちは 50 人の障がい児を調査・把握しました。そして 2010 年には、私たちのリストの子どもたちは 61 人になりました。本当にわずかではありますが、進歩はしていると思います。

私たちの問題は、リストの子どもたちの数は年毎に増えるのだけれど、常に十分な資金がないという厳しい状況にあるため、この先、子どもたち全員に学用品を贈っていくことができるのかどうかかわからないというところにあります。けれども、私たちは、できる限りの努力をして、この運動を続けていきたいと思っていますので、皆様にどうかよろしくお伝え下さい。

2011 年 7 月 11 日付け

AESEH 会長

アマディ・チェルノ・ジャロ

3. サーバシ・チャム図書館への支援

*4月1日、サーバシ・チャム小学校図書館図書補充用として、100,000円（現地受領額540,369Fcfa）を送金しました。

*6月1日の送金137,532円（現地受領額745,101Fcfa）のうち、サーバシ・チャム小学校図書館外壁補修用ペンキ代として、102,600Fcfaが贈られました。

*6月20日（月）、サーバシ・チャム小学校図書館が開館。

図書館建物外観（開館前）↓ 図書館入り口に書かれた、サーバシ・チャム小学校図書館 セネガル・日本共同事業 パオバブの会 / サーバシ・チャム小学校 の文字



図書館前に並んだ子どもたち



当校と近隣の学校の先生たち ↓



図書館責任者のコリン先生 ↓



図書館内部（本はまだ少ししかありません）



*サーバシ・チャム小学校には、2月8日、「工作用はさみ 20 個」も贈りました。

4. ンジャゴ小学校教室完成支援

6月1日の137,532円送金（現地受領額745,101Fcf）の中には、

ンジャゴ小学校教室完成補助のための602,500Fcfが含まれていました。

ンジャゴ小学校では、2010年より、学校側と親たちの自助努力により、1シーズンしか使えない藁教室をコンクリート造りの教室に代える計画が進んでいましたが、資金不足のため、半分までできたところで工事が止まっていました。

この教室を完成させるための補助金を贈ったものです。

5. ベンチ付き長机プロジェクト

学校には十分な数の机・椅子がないため、子どもたちは、しばしば、家から小さな腰掛を持ってきて、膝の上に本やノートを広げて勉強しています。バオバブの会では、そのような状態を改善しようと、本年、ベンチ付き長机を贈るプロジェクトを始めました。

*まず、ンジャゴ小学校に、75個のベンチ付き長机を贈りました。

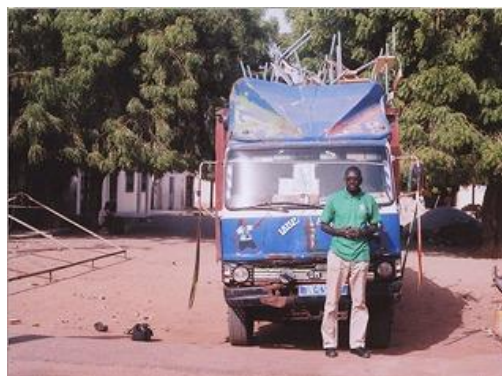
製作のための送金は、9月2日に112,998円（現地受領額654,437 Fcfa）、9月6日に106,302円（現地受領額654,437 Fcfa）、10月28日に150,000円送金（現地受領額898,577 Fcfa）と3回に分けて行いました。3回目の送金額には、75個の制作費の3分の1分の625,000 Fcfaの他、トラック積載費用の20,000 Fcfaと輸送費85,000 Fcfa、現地代理人ガソリン代が含まれています。

*その後、サルム・ジャネ中学校にも、ベンチ付き長机75個を贈りました。

送金は、同様に3回に分けて行いました。2011年度は中には、11月29日の送金のうちの625,000 Fcfaと、12月16日の105,000円（現地受領額625,000 Fcfa）です。

2012年1月に3回目の送金が行われ、75個のベンチ付き長机がサルム・ジャネ中学校に届けられました。

サルム・ジャネ中学校のベンチ付き長机が完成



トラックの前に立っているのは、バオバブの会の現地代理人のジム・チャムさん

